

## 令和4年6月定例会 諸般の報告（開会挨拶）

皆様おはようございます。

本日、ここに議員各位の御参集をお願い申し上げ、令和4年第3回江田島市議会を開会するに当たりまして、御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、平素から市政運営に対し、格別の御理解と御協力をいただきまして、深く感謝申し上げます。

また、市民の皆様には早朝から、定例会の傍聴にお越しいただき、心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

梅雨入りを目前に控えて、アジサイの花が美しい季節となりました。

6月11日、12日の二日間にわたり、第7回となりましたSEA TO SUMMIT 2022が、大柿高校自然科学部の活動発表や北極冒険家の荻田泰永（おぎた やすなが）さんの基調講演による環境シンポジウムに続き、全国19の都道府県から多くの皆様の参加を得て、無事終了いたしました。

甚大な被害を発生させた平成30年7月豪雨災害から、はや4年を迎えようとしております。今後は、降水量が増えることが懸念されております。これまでの教訓を踏まえまして、市民の皆様方と共に災害に備えてまいりたいと思います。

さて、新型コロナウイルス感染症は、本市では令和4年1月のひと月で270人もの新規陽性患者を確認するという急激な感染拡大から、5月は、99人と減少傾向にあるものの未だ予断を許さない状況でございます。また、ワクチン接種につきましては、第1期追加接種（3回目接種）が4月で概ね終了し、現在は第2期追加接種（4回目接種）に向けて、高齢者の皆さんへの接種券発送など、準備を進めているところでございます。

このような中、現在、「さとうみ科学館（大柿自然環境体験学習交流館）」では、開館20周年記念展として「イラスト水族館」が開催されております。

5月から始まりました記念展では、子どもたちに自然を見る目を養ってもらうため、海辺の生き物を題材として募集している絵画コンクールの歴代優秀賞 全373点が、一挙に公開されており市内外から多くの皆様に来館いただいております。

さとうみ科学館は、平成14年4月、瀬戸内の島ならではの自然を教材に「里海教育」を推進するために、旧深江小学校の校舎等を活用して開館したものでございます。市内の小中学校と連携をしながら、自然観察会などを開き、子どもたちにふるさとの自然、里海を愛する心を育てており、本市にとって宝の施設でございます。

この科学館開館前の準備段階から、事業に携わる西原直久館長の理念、「ふるさとの自然を知る子どもは、ふるさを語れる大人になる」

「ふるさとの自然を知る子どもは、ふるさとを語れる大人になる」という、この言葉は、私たち、ふるさとのまちづくりに関わる者全てが、胸に抱く言葉だと思います。

私の敬愛する詩人、坂村真民先生の「あとからくる者のために」という詩の最後の一節「あの可愛い者たちのために 未来を受け継ぐ者たちのために みなそれぞれ自分でできる何かをしていくのだ」という、この詩に通じる真心があると感じております。

この宝の施設、ここに貫かれる里海教育の姿勢をこれからも本市のまちづくりの貴重な理念として守っていきたい、このように考えております。

議員各位の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

さて、今議会では、江田島市市民センター等設置及び管理条例の一部を改正する条例案など、当面する市政の重要案件につきまして御審議をお願いすることといたしております。

何とぞ十分な御審議をいただき、議決を賜りますようお願いを申し上げます。

それでは、2月開会の定例会以後の市政の主な事柄につきまして、報告させていただきます。

市政報告書 1 ページ、2 項目め「令和4年江田島市成人式について」でございます。

5月4日、農村環境改善センター（わくわくセンター）で、令和4年江田島市成人式を開催いたしました。

今回はコロナ禍による（3度の）延期を経て、令和3年及び令和4年の2年分の新成人を祝う合同での開催となりました。

式典には、新成人の皆さんを始め来賓等、約200人の参加があり、シンガーソングライターの「う～み」さんから歌と温かいエールが送られました。

成人式運営委員の方々の活躍により、充実した成人式となり、コロナ禍に惑わされながらも晴れて門出を迎えた新成人を祝うことができました。

他の項目につきましては、報告書のとおりでございます。

なお、この場をお借りしまして、再任用となります消防長を紹介したいと思いますので、しばらくお時間をお願いいたします。

消防本部の目標と併せて、自己紹介を簡単に行わせていただきます。

（ 丸石（まるいし）消防長 ）

どうぞよろしくお願いたします。

以上で、報告を終わらせていただきます。